

お知らせ（速報）

1. 件名

梅雨前線の降雨に伴う岩屋ダムの洪水調節

2. 概要

平成22年7月11日11時から15日9時にかけて、梅雨前線の影響により、岩屋ダムの流域では、累計約447mmの降雨を観測しました。（1時間最大：15日1時で約22mm、3時間最大：11日17時から19時まで約44mm）

この降雨により、岩屋ダムでは3回にわたりダムへの流入量が洪水量(300m³/s)を超えました。この間において、最大で約629m³/s（12日10時21分）の流入がありました。

この洪水により岩屋ダムの貯水位は、最大でEL. 406.42m（洪水調節1回目開始時）から410.90m（洪水調節1回目終了時）までで4.48m上昇し、およそ1,500万m³の水をダムに貯め込みました。

注）ダムの洪水量とは、①ダム下流河川の無害流量（河川に影響がない流量）、②1年に1～3回程度発生する流量などにより、各ダムごとに決められた水量です。ダムへの流入量がこの「洪水量」を越えると洪水調節を行います。

3. 雨量

流域平均総雨量	約447mm	降り始めからの累計値 7月11日11時から7月15日9時まで
ダム地点総雨量	約436mm	降り始めからの累計値 7月11日13時から7月15日9時まで

※ 岩屋ダム管理開始の翌年（1978年）から昨年（2009年）までのダム地点における7月の平均雨量は382mmです。そのため、11日から15日にかけての3日間で例年のひと月以上の雨が降ったこととなります。

4. 岩屋ダム洪水調節量

最大流入量	12日10時21分	約 629m ³ /s
最大流入時ダム放流量		約 109m ³ /s
洪水調節量		約 520m ³ /s

注）今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

* 下線部については、記載に誤りがあったため平成23年5月31日に訂正しました。

誤：管理開始（1957年） → 正：管理開始の翌年（1978年）

岩屋ダム洪水調節 [平成22年7月11~15日洪水]

